

## ◇ 平成 28 年度教員採用選考試験説明会の概要

5月9日（土）に、宮崎県教育委員会主催の「平成 27 年度第 1 回宮崎教師道場」が宮崎大学で開催され、県内各地から大学生や短大生、大学院生、そして各学校に勤務する臨時的任用講師の約 450 人が参加しました。本学からも教員採用試験を目指す卒業生が数人参加していました。

「宮崎県教師道場」の目的は、宮崎の教員を希望する学生及び臨時的任用講師等を対象としており、本研修会をとおして「宮崎県の教育について理解を深めるとともに、採用後に即戦力となり得る教育実践力を育成する」となっています。当日は、第 1 部では宮崎県教育研修センター所長「今村卓也氏（前宮崎県教育委員会次長）」の講話及び第 2 部では平成 28 年度宮崎県公立学校教育採用選考試験に関する説明がありました。

第 1 部の講話では、今村所長が「修養～これからの教師に求められるもの～」と題して「明日の宮崎の教育を担う教師たち」について、以下の「四つ」のことを身に付けてほしいと強調されました。

### (1) 愛情と情熱・使命感

教師を志すものは、命がけで取り組んで欲しい。真の教育とは、教員が単に教科書を型どおりに説明するだけではなく、相手の眠っている魂を揺り動かし、これを呼び起こすような教育である。

### (2) 高い専門性

「研究・工夫」をしない教師は、「先生」ではない。子どもと同じ世界にいたければ、自分が研究し、勉強し続けなければなりません。大事なことは、研究・工夫して、毎日、勉強の苦しみと喜びをしっかりと感じることです。

子どもが納得する分かりやすい授業を行い、子どもの力を見極めながら、生徒に本当の力をつける先生になってほしい。

### (3) 幅広い社会性、倫理観、人間性

学校における最も大切な教育環境は、何よりも子どもたちに直接関わる教員そのものです。そして、生徒にとって、教師は、最も身近な大人であり、社会人でもあります。皆さんは、人の痛みや悩みに気づける力を、また、人の苦しみを自分のこととして受け入れ、その解決のためにあらん限りの智慧を出せる力をもっている教員となることを望みます。

### (4) 学び続ける姿勢

教師は、生涯「師」であり続けなければなりません。自分は「これでいいのか」と悩み、考え続ける教師であってほしい。子どもの幸せのために学び続け、後ろ姿で生き方を示せる教員であってほしい。

第2部では、平成28年度宮崎県公立学校教育採用選考試験説明会が行われました。

昨年度（平成27年度）の小学校教諭の採用数は、45人（小学校の英語枠1人を含む）でしたが、平成28年度の募集では、75人に増加しています。また、新たに「小学校教諭特別選考（英語枠）」が設定され、3人募集となっています。

また、中学校英語教諭の募集では、昨年度7人から6人と1人少なくなりましたが、高等学校英語では昨年度の2人から4人と2倍になりました。特別選考を除いた一般選考の採用予定者数を比較すると、昨年度の161人に対し、「今年度は219人」となっています。

#### ◇ 教員採用選考試験〈宮崎県の過去の競争倍率〉

宮崎県の最近の教員採用試験倍率は、以下のとおりです。

表 宮崎県における教員採用試験倍率

採用年度	小学校教諭等	中学校教諭等	高等学校教諭等
平成23年度	11.8	15.2	15.6
平成24年度	13.6	19.7	13.2
平成25年度	11.4	15.6	11.6
平成26年度	10.9	12.4	9.9
平成27年度	10.0	12.5	12.6

（平成28年度宮崎県公立学校教員募集案内より）

なお、平成27年度の中学校英語の二次合格者の数は「7人」で、「15.7倍（英語として）」の競争倍率でした。また、高等学校英語の二次合格者の数は「2人」で、「26.0倍（英語として）」の競争倍率でした。すでに、お知らせしたように、高等学校教諭（英語）では、本学卒業生2人が合格し、採用予定者2人を独占する快挙を成し遂げました。また、中学校教諭（英語）でも、採用予定者7人のなかで本学卒業生1人が合格しました。

宮崎県の公立学校教員採用選考試験の倍率は、国内の主要都道府県や政令指定都市に比べ、非常に高い状況にあります。一方、関東や関西方面では、軒並み3倍から4倍程度の低い競争倍率です。子ども・生徒の教育に当たるといふ点では、いずれの県に採用されても同じです。是非とも、宮崎県に固執するのではなく、他自治体の採用試験にも大いに挑戦してみましょう。

ちなみに、昨年度の他都府県の小学校教諭採用試験の競争倍率について、以下のとおりです。

「東京都：3.7倍、大阪府：3.2倍、福岡県：3.1倍、福岡市：4.0倍、北九州市：2.7倍、大分県：3.4倍、熊本県：4.7倍、鹿児島県：10.8倍」

また、採用予定者数でみると、平成28年度の小学校教員では、東京都では、前年度より約2割増やして、1,200人、大阪府では約720人となっています。

◇ 国際教養学部の4年生、教育実習の事前指導を熱心に受講

今年度の教育実習事前指導では、国際教養学部の教職課程を選択している「4年生12人及び科目等履修生4人の計16人」が参加しました。4月28日には、みどり幼稚園と宮崎学園中学校・高等学校を訪問し授業参観等を行いました。また、5月7日には、宮崎県教育委員会教職員課の都甲政文主幹から「先生を目指す皆さんに」と題して50分の講話があり、また5月13日には同学校教育課の長友美紀指導主事から「期待する教員像、英語教育の現状」と題して講話がありました。両日ともに前述した16人全員が受講しました。4年生が緊張した面持ちで熱心に聞き入っていた姿が印象的であり、初めての教育実習に向かう強い心構えが感じられました。

◇ 教員採用選考試験「英語：特別選考」について

平成27年度教員採用における「英語：特別選考」の各都府県及び市の資格要件や免除される科目等は、以下のとおりです。特に、小学校教員採用試験において、特別選考（英語枠）が設定され募集が開始されています。国際教養学部の受験生等は、各自治体の要件等について、確認しておいてください。

表 都府県における英語教員採用における資格要件等

自治体名	対象となる校種・教科	資格要件			免除される試験科目等	平成27年度受験者数		その他
		(ア)	(イ)	(ウ)		中	高	
		TOEFL	TOEIC	英語検定				
東京都	中高共通 英語	P.600点以上 C.250点以上 i.100点以上	900点 以上	1級合格	第二次選考 実技	44	0	資格要件は (ア)～(ウ) のいずれか
京都府	中高共通 英語	P.580点以上 C.237点以上 i.92点以上	860点 以上	1級合格	第1次試験 専門教科	6	14	資格要件は (ア)～(ウ) のいずれか
福岡県	中高共通 英語	P.600点以上 i.100点以上	900点 以上	1級合格	第1次試験 専門教科 (リスニングを除く)	0	11	資格要件は (ア)～(ウ) のいずれか
宮崎県	小学校、 中高共通 英語	P.597点以上 i.98点以上	860点 以上	1級合格	リスニング 試験	小0 中5	8	資格要件は (ア)～(ウ) のいずれか

○ 他の都道府県の情報については、学生教職支援センターに掲示していますので参考にしてください。

※ 最近、小学校教員採用試験では、「小学校英語」として特別選考（英語枠）が設けられている自治体が増えてきています。いよいよ、小学校における英語の教科化に対応して、各県とも特別選考（英語枠）での募集が始まったようです。今回は、京都市及び宮崎県における特別選考（英語枠）について紹介します。

表 小学校教諭採用試験における特別選考（英語枠）における資格要件等

宮崎県	○ 中学校英語または高等学校英語の普通免許状を有するか、または平成 27 年 4 月 1 日までに取得見込みであること。
京都市	以下のいずれかの条件を満たすことが必要です。 ① 中学校英語または高等学校英語の普通免許状を有するか、または平成 27 年 4 月 1 日までに取得見込みであること。 ② 実用英語技能検定準 1 級以上の資格を所有していること。 ③ TOEFL 550 点以上（i B T の場合は 80 点以上）の資格を所有していること。 ④ TOEIC 730 点以上の資格を所有していること。 ※上記②～④資格の有効期限は設けていません。過去に一度でも要件を満たせば該当します。

このように、小学校における特別選考（英語枠）について、「小学校教諭免許状」に「中学または高等学校における英語教諭免許状（見込みも含む）」を取得することが資格要件となっています。国際教養学部の教職課程（英語）を選択している学生にとって、中学校、高等学校の英語教員に加え、小学校教員における英語教員としての道も開けることとなります。

今後、小学校の特別選考（英語枠）についての新しい情報は、このセンター通信や学生教職支援センターの掲示板等を通じて提供しますので、見落とさないようにしてください。

#### ◇ 教員採用試験のための特別対策講座（基礎Ⅱ）まもなくスタート

2 年生を対象にした「教員採用試験のための特別対策講座（基礎Ⅱ）」が、6 月 15 日（月）から、年間 12 回の予定で始まります。基本的には月曜日の 4 限に開講する計画で、担当する先生方も決まりました。昨年に引き続き、最終ゴールをイメージしながら、全員で粘り強く取り組みましょう。第 1 回は、「国及び宮崎県の教育動向（2）」を行います。教室は 4 2 1 で、中原が担当します。第 2 回講座は、「体育」で嶋先生の担当です。

#### ◇ 教員採用試験のための特別対策合宿 A の説明会開催

9 月 1 日から 2 泊三日で特別対策合宿 A を開催します。場所・プログラム等は、本日の集会で説明したとおりです。実習に関する調査書も含めて提出書類が複数ありますので、期日前に提出するよう心がけましょう。